

【速報】市議会議員選挙の候補者アンケートの結果(11/17 現在) 19 日までに到着分を反映して再作成します

今後の朝霞市を考える会実施 11/6 発送、11/14 投函締切、17 日 16:30 着分まで反映

8 割近い候補者が回答せず

市民を代表して税金の使途を決める市議会議員になるなら、自らの考えていることは市民に堂々と表明した方がよい

1. アンケートの全体から

必要な説明や主張が明らかでない人に投票できますか

回答をもらったのは、日本共産党 3 人全員、市民ネットの会 2 人全員、無所属新人のうち 2 人(小山・伊藤)だけでした。他の保守系無所属候補、公明党、民主党の候補者は回答がありませんでした。無所属新人の 1 人(船本)については事務所体制を理由に回答できないお詫びの電話とともに、政策宣伝のちらしの提供を受けています。説明したい気持ちだけは確認しました。

回答がない候補者については催促の電話をしましたが、つながった方もその後の対応はありません。

回答者はおおむね富岡市政に野党的スタンスを取る候補者に限られており、与党的立場の候補者は全員未回答となっています。

回答	(共産党)堀内初江、斎藤弘道、石川啓子 (市民ネット)藤井由美子、田辺淳 (無所属・新人)小山香、伊藤隼人
回答せず	(無所属・進政会)陶山憲秀、石原茂、浅川万次郎、野本一幸、高橋安喜夫、福川鷹子、小池秀雄、大橋正好、(無所属・拓政会)獅子倉千代子、原山典、(無所属・民主クラブ)小池正訓、(無所属・新人)高橋勅幸、須田義博、田口勇、栗原幸雄、神谷大輔、船本祐志 (公明党)利根川仁志、浦川和子、岡崎和広、篠原逸子、本山好子 (民主党)佐野昌夫

他団体の行ったアンケートの回収状況もこのアンケートと同様です。基地問題で深刻な意見の対立がある時に行われる市議選に申し合わせて回答をしないようにしているか、市議の大半が元々から支持者以外の市民に政策を説明する必要はないと考えているのか、どちらかではないでしょうか。

議員は有権者の選挙によって選ばれますが、有権者が投票するためにはある程度の情報がなくては選べようがありません。朝霞市は議会の広報が選挙の判断に使うには不十分で、それを補うべき各議員の議会報告はあまり配布されず、街頭演説がほとんど行われていません。市民は議員の行動についてきちんと知る機会が与えられていません。

今回、アンケートを通して用意した機会を回答をしなかった候補者は、使わなかったと言えます。民主主義社会の政治家として資質について考えるべきものがあります。次回以降の各団体のアンケート等には積極的に対応してほしいと思います。

このような回収状況で、今回の回答結果は富岡市政野党系候補が中心という偏りのある中でまとめられた限界をもってお読みとください。

2. 情報公開・市民参加

細かい技術論で考え方が分かれる

回答者はおおむね情報公開の徹底に賛成しています。一方、その詳細な内容については回答が異なる部分がありました。

市の審議会・委員会の役割について、回答のあった 7 人全員が、「計画段階からの市民が参加し、もっと大胆な市民の意見を反映する仕組み」として評価し、その議事録については、7 人全員が時期を区切って公開すべきだと回答しています。

一方、市の審議会・委員会での市職員の発言について議事録に「事務局から説明」とだけ記載する今の状態でよいと回答する人はおらず、全員が発言内容を記載すべきという回答をしていました。発言した市議員の氏名の記載は、堀内、田辺、小山、伊藤が賛成、石川、斎藤が「事務局」でよい、藤井が担当課名と役職とすべきと回答しています。

市の計画策定の最終段階で行われる、パブリックコメント(論点公開の意見公募)について 7 人全員が、誰でもが文書で意見を提出し計画修正できる重要な機会だと回答しています。

情報公開請求の資料複写の手数料のあり方については意見が分されました。共産党 3 人が無料、市民ネット 2 人が営利以外のもは無料、無所属新人の 2 人が現状のように公益目的や本人に関するもの以外は有料でよいという回答をしています。

3. 議会のあり方

開かれた議会を求める回答

回答者は、市民に身近になる議会の改革についてはおおむね推進する方向で回答。具体策になると、休日夜間の開催などが人気です。

傍聴規則については議会運営に問題がなければできるだけ緩和すべきと全員が回答しています。

広報あさかでの議会報告については、議案に対する賛否は斎藤が賛否の分かれた議案だけ公開とした他は賛否を議員名ごとに紹介すべきと回答し、質疑応答での発言議員名について、全員が議員名ごと公開すべきと回答しました。

重要議案の審議で、市民や学識経験者の意見表明の機会について、未回答の石川以外の 6 人は、設けた方がよいと回答しています。

議会改革の具体策として優先度の高い 3 つを選択肢から選んでもらったところ、夜間休日議会の開催は共産党 3 人・田辺・小山の 5 人、議員外の人の意見表明の機会を設けることには堀内・藤井・伊藤の 3 人、議員どうしの討論は藤井・小山、議事録の迅速な公開は堀内・石川、議会の権限強化は斎藤、田辺・小山、政務調査費の公開は堀内・藤井のそれぞれ 2 人ずつ、市長理事者との一問一答方式は田辺、議会事務局の体制強化は斎藤、各議員の議会報告の充実が伊藤がそれぞれ 1 人ずつ選んでいました。

4. 福祉政策

介護では共産とそれ以外の候補者で違いが鮮明

負担の増減をからめて、福祉は個人責任を追求するか、社会的責任とし弱者の自立を重んじるかという問いでは、市民ネット 2 人・小山・伊藤が社会的責任を重視する回答。共産党の 3 人はどちらも選ばず、弱者の自立を期待しながら、負担増は認めないという立場でした。

保育所不足に対する考え方は、斎藤、石川が就労の都合によるニーズの範囲で保育所を整備すべきと回答、市民ネットの 2 人と小山、伊藤、堀内が親の就労に区分されずに幅広く受け入れる保育園をめざすべきと回答しています。

保育所の開所時間について、市の計画どおり 20 時まで開所を求めているのが、斎藤・石川・小山・伊藤。働き方の多様化に対応して 20 時以降も対応すべきを堀内、藤井が選んでいます。一方、田辺は現状どおり 19 時閉所でよいと回答しています。

学童保育の混雑対策では、混雑対策に限定して増設や拡大を行うべきとした伊藤以外は、入所待機者を含めた増設や拡大が必要と回答しています。人材確保の必要を付記した回答者もいました。

介護保険財政のあり方について、市民ネットの 2 人・小山・伊藤が社会保険ではなく税金で行うべきと回答。共産党の 3 人はその他として介護保険の量と質は維持しながら負担増にならない工夫が必要と回答しています。

24時間ホームヘルプ体制がないことをどう解決するかという問いに、対応できる事業者をさがす・育てると回答したのが、市民ネットの 2 人・石川・堀内・小山。回答保留が斎藤・伊藤。斎藤は施設介護の整備も優先度が高いと回答しています。

朝霞市の中核医療、地域医療、在宅医療の充実のために優先度が高い3つを選んでもらったところ、7 人全員が開業医の協力で往診や地域医療の充実を務めると回答しています。続いて、都内の大学病院との連携を市民ネット 2 人・斎藤・伊藤、産科小児科に重点化した対策を行うは共産党 3 人・藤井のそれぞれ 4 人、新たな救急病院の新設は堀内・田辺・小山の 3 人、朝霞中央病院の強化は小山・伊藤の 2 人、入院病床数を増やすべきは石川が回答しています。

小児科医療の窓口無料化の評価は、共産党の 3 人、市民ネットの 2 人、伊藤の 6 人が評価。なお藤井は現状では小児科医療に負荷がかかっており保護者への医療知識の普及が必要と付記。小山は軽度の患者が増えて感染症や重度、慢性疾患の子どもの受診に悪影響が出ていると回答しています。

5. 基地跡地利用

使途もさることながら情報公開と市民合意が問題

基地跡地利用の重視する項目では、情報公開は 7 人全員、市民参加による合意は共産党 3 人・市民ネット 2 人・小山の 6 人、自然保護が共産党 3 人・小山の 4 人、市の財政が田辺、伊藤の 2 人、国・県・市の財政が藤井、公共サービスのとのバランスを伊藤が選択しています。

基地跡地の議論でどれが近いかという問いでは、市民ネットの 2 人と小山が市民連絡会の県営公園化案を、伊藤が福祉医療施設を、石川、堀内、斎藤が公園と福祉医療施設の用地の両方を選択しています。

国家公務員宿舎建設をめぐる対立についての責任については、全員が市役所の独断に問題があると回答しています。

市役所の跡地利用案の説明について、7 人全員が議会にも市民にも説明が不十分と回答しています。

基地跡地利用の対立についてどう解決すべきかという問いは、共産党 3 人・市民ネット 2 人・小山の 6 人が市民の意見をもっと求めて合意を模索すべきと回答。伊藤はこれに加えて、一般議員にも合意を求めべきと回答しています。

国家公務員宿舎そのものへの評価では、共産党 3 人は選択肢から選ばず、公務員宿舎は必要であり、民間人も含めて住宅が人権や福祉の問題として議論し直されるべきと付記。藤井・小山は必要性の高い状況にある公務員にだけ宿舎を用意すべきと回答。田辺は税金の使途として優先度が低いので今はない方がいいとし、伊藤は自力で確保すべきと回答した上で必要性の高い公務員のみ宿舎があるべきと回答しています。

国家公務員宿舎を核にした市役所の跡地開利用計画に対する評価として、共産党 3 人・市民ネット 2 人・小山の 6 人がわかりにくい削減計画と回答。伊藤がしっかりしているがわかりにくい計画と回答。

6. ベッドタウン朝霞のまちづくり

党や会派でなく生活体験・世代で回答が分かれる

朝霞市はベッドタウンとして発展した街の候補者に、ベッドタウン住民の生活課題のどのようなことに課題を感じているのか聞いた。ここでは党派や性別にかかわらず非常に多様なパターンの回答となっているのが特徴的である。

マンション問題で重視していることを3つまで選択してもらったところ、都市計画とマンション建設の整合性を取るべきを 7 人全員が選択。共産党 3 人・小山・伊藤の 5 人はマンションの老朽化やメンテナンスに関して管理組合にノウハウの提供が必要と回答。マンション住民の防災対策は藤井・伊藤、近隣問題は斎藤・藤井、人口流入による行政サービスの不足は堀内・小山、スラム化防止は田辺が選んでいる。

市民の通勤電車の苦痛の解決策では、田辺が市議の仕事ではないと回答保留。

〈東上線について 3 つまででは〉バリアフリーの設備を充実させるを斎藤・石川・藤井・伊藤の 4 人が選択。有楽町線の直通電車の増発は石川・藤井・小山が(和光市から)有楽町線まわりでも東上線まわりでも運賃を共通化させるを堀内・藤井・小山の 3 人が選択。斎藤・小山は、速度が落ちて増発を求め、深夜の時間帯の東上線の増発を選択。堀内は朝霞や朝霞台に始発電車を設けるべきと回答しています。

〈武蔵野線について3つまで〉武蔵野線からさいたま市方面への接続の改善を共産党 3 人・藤井・小山の 5 人が選択、バリアフリー設備の充実を斎藤、石川、藤井が選択。本数を増やすべきは斎藤・小山、運休や遅延の対策を堀内・小山が選んでいます。

市民の市内での消費対策では、商店街の育成が堀内・石川・田辺・小山が選択、市内で買い物するメリットを知ってもらうは市民ネット 2 人・堀内・小山が選択。小地域に1つずつスーパーを斎藤・堀内が選択、バス路線網の整備を田辺・小山が選択、駐車場の整備を田辺が選んでいます。

2007年朝霞市議会議員選挙
候補者アンケート集計表

2007年11月18日
今後の朝霞市を考える会まとめ

候補者名	届出政党名	会派	当選回数	性別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	10	10	11	12	13	14	15	16	17	17	17	18	
					I. 情報公開・市民参加					II. 議会のあり方					III. 福祉政策												
					1.委員会の公募市民の評価	2.審議会議事録の公開時期	3.審議会事務局の発言の公開	3.審議会の資料のHPアップ	4.パブリックコメント	5.情報公開の手段料	1.傍聴規則	2.広報あさかでの賛否の公開	3.広報あさかでの質問議員名の公開	4.重要議案の市民参考人の招致	5.議会改革の課題			1.福祉へのスタンス	2.保育所不足の問題	3.保育所の開所時間	保育の混雑対策の増設	5.介護保険財政	6.24時間ヘルパーの確保	7.医療の充実策			8.小児医療無料化の評価
										①	②	③							①	②	③						
利根川仁志	公明党	公明党	2	男																							
浦川和子	公明党	公明党	1	女																							
本山好子	公明党	公明党	新	女																							
岡崎和宏	公明党	公明党	2	男																							
篠原逸子	公明党	公明党	7	女																							
斉藤弘道	共産党	共産党	3	男	もっと	期限を	事務局	すべき	重要	無料	最小限	賛否	議員名	すべき	d	e	f	他	待機分	20時	待機分	他	他	a	f	g	評価
堀内初恵	共産党	共産党	6	女	もっと	期限を	職員名	すべき	重要	無料	最小限	議員別	議員名	すべき	c	e	h	他	幅広く	20時以降	待機分	他	確保	a	d	g	評価
石川啓子	共産党	共産党	2	女	もっと	期限を	事務局	すべき	重要	無料	最小限	議員別	議員名	NA	c	e	m	他	待機分	20時	待機分	他	確保	a	b	g	評価
藤井由美子	市民ネット	市民ネット	2	女	もっと	期限を	役職名	すべき	重要	営利以外	最小限	議員別	議員名	すべき	b	h	m	b	幅広く	20時以降	待機分	税方式	確保	a	f	g	評価
田辺淳	市民ネット	市民ネット	5	男	もっと	期限を	職員名	すべき	重要	営利以外	最小限	議員別	議員名	すべき	a	e	f	b	幅広く	19時	待機分	税方式	確保	a	d	f	評価
佐野昌夫	民主党	民主クラブ	2	男																							
小池正訓	無所属	民主クラブ		男																							
原山典	無所属	拓政会	3	男																							
獅子倉千代子	無所属	拓政会	4	女																							
小池秀雄	無所属	進政会		男																							
陶山憲秀	無所属	進政会	5	男																							
福川鷹子	無所属	進政会	3	女																							
大橋正好	無所属	進政会	1	男																							
高橋安喜夫	無所属	進政会	5	男																							
野本一幸	無所属	進政会	4	男																							
石原茂	無所属	進政会	5	男																							
浅川万次郎	無所属	進政会	5	男																							
船本祐志	無所属		新	男																							
高橋勅幸	無所属		新	男																							
須田義博	無所属		新	男																							
田口勇	無所属		新	男																							
栗原幸雄	無所属		新	男																							
神谷大輔	無所属		新	男																							
伊藤隼人	無所属		新	男	もっと	期限を	職員名	すべき	重要	現行	最小限	議員別	議員名	すべき	e	h	o	b	幅広く	20時	混雑緩和	税方式	NA	a	c	f	評価
小山香	無所属		新	男	もっと	期限を	職員名	すべき	重要	現行	最小限	議員別	議員名	すべき	b	e	f	b	幅広く	20時	待機分	税方式	確保	a	c	g	問題
					I-1 委員会の公募市民の評価 もっと=計画段階から市民参加 広げる=枠を広げる 現状=今の水準 縮小=減らすかなくすべき										III-1 福祉へのスタンス 個人=できるだけ個人 社会=手厚い社会的支援が必要												
					I-2 議事録の公開時期 期限を=期限を設けるべき 現状=今のままでよい										III-2 保育所不足の対応 母親=できるだけ作らない 就労=就労している人に対応する程度に増やす 幅広く=就労に限定しないで利用できる保育所 需要=需要を掘り起こすので増やさない												
					I-3 事務局の発言 「事務局」=事務局で発言を記載 職員名=職員の名前まで記す 現状=今のまま 資料のアップ 「すべき」=HPにも公開すべき 現状=今のままでよい										III-3 開所時間 20時=計画どおり20時まで 20時以降=計画に加えた夜間開所 24時間=24時間開所の保育所の確保 現状=19時まで 短縮=短くすべき												
					I-4 パブリックコメントの評価 重要=誰でも意見を提出し計画修正できる重要な機会 参考=参考意見を集める必要な機会 不要=いらない										III-4 学童保育の満員状態について 絞る=入所定員を絞る 混雑緩和=現在の入所者を対象に混雑緩和 待機分=待機者分も含めて増設												
					I-5 情報公開の資料複写の手段料 無料=原則無料 営利以外=営利以外無料 市外=市外在住者は有料 現状=現状 有料=原則有料										III-5 介護保険財政 値上げ=介護保険料の値上げ 抑制=利用を抑えて保険料を抑える 税方式=保険をやめ税で行う 投入=他の予算の財源を介護に投入												
					II-1 傍聴規則のあり方 現状=今のまま 若干=記録を取りやすくするための若干の緩和が必要 最小限=最小限の規制に 強化=不審者対策で強化すべき										III-6 24時間ホームヘルパー 確保=確保すべき 施設=施設を強化 家族=家族が介護すべき												
					II-2 広報あさかでの決議の賛否の公開 議員名=議員名で明らかに 会派名=会派名で明らかに 賛否=賛否の分かれた議案のみ公開 非公開=明らかにすべくない										III-7 医療の改善 a.開業医の協力で往診や地域医療の充実 b.入院病床数を増やす c.朝霞中央病院の強化 d.新しい病院 f.都内の大学病院との連携 g.産科小児科の重点対策 h.このまま												
					II-3 広報あさかでの質疑の発言者名の公開 議員名=議員名で明らかに 会派名=会派名で明らかに 現状=今のまま 非公開=議員の独立性を保つために非公開										III-8 小児医療窓口無料化の評価 評価=いいことだ 問題=軽度の患者が増えて重度や伝染病の治療が機能しない c. マニフェストの実行だから当たり前												
					II-4 重要議案の参考人招致 すべき=市民参考人から意見を求めたい 不要=現状のまますべくない 化 e.夜間休日開会 f.議会の権限の強化 g.審議会・委員会を行政から議会に h.市民参考人 i.議員の増加 j.議員の削減 k.議員報酬の改善 l.議員報酬の削減 m.政務調査費の公開 n.視察の増加 o.各議員の議会報告の充実 z.今のままでよい																						

2007年朝霞市議会議員選挙
候補者アンケート集計表

2007年11月18日
今後の朝霞市を考える会まとめ

候補者名	届出政党名	会派	19	19	19	20	21	22	23	24	25	26	26	26	27	27	27	28	28	28				
			IV. 基地跡地問題										V. ベッドタウン朝霞のまちづくり											
			1.跡地利用に重要な視点と 思うこと			2.基地跡地利用の 考え方の 立場			3.市役所 と市民の 対立の原 因は		4.説明 の十分 性	5.基地跡地 利用を主 体的に考 える べき人		6.公務 員宿舎 への評 価	7.整備 計画の 評価	1.マンション政策 として重視			2.東上線・武蔵 野線の改革			3.東上線・武蔵 野線の改革		
①	②	③										①	②	③	①	②	③	①	②	③				
利根川仁志	公明党	公明党																						
浦川和子	公明党	公明党																						
本山好子	公明党	公明党																						
岡崎和宏	公明党	公明党																						
篠原逸子	公明党	公明党																						
斉藤弘道	共産党	共産党	c	e	f	他	市役所	b	市民合意	他	d	b	d	e	a	e	k	a	c	e	d			
堀内初恵	共産党	共産党	c	e	f	b,c	市役所	b	市民合意	NA	d	b	e	f	k	n	o	c	d		b	d	e	
石川啓子	共産党	共産党	c	e	f	b,c	市役所	b	市民合意	NA	d	b	e		f	k		c	e		b			
藤井由美子	市民ネット	市民ネット	b	e	f	b	市役所	b	市民合意	c	d	c	d	e	f	k	o	c	e		e			
田辺淳	市民ネット	市民ネット	a	e	f	b	市役所	b	市民合意	d	d	d	e	g							b	e	g,h	
佐野昌夫	民主党	民主クラブ																						
小池正訓	無所属	民主クラブ																						
原山典	無所属	拓政会																						
獅子倉千代子	無所属	拓政会																						
小池秀雄	無所属	進政会																						
陶山憲秀	無所属	進政会																						
福川鷹子	無所属	進政会																						
大橋正好	無所属	進政会																						
高橋安喜夫	無所属	進政会																						
野本一幸	無所属	進政会																						
石原茂	無所属	進政会																						
浅川万次郎	無所属	進政会																						
船本祐志	無所属																							
高橋勅幸	無所属																							
須田義博	無所属																							
田口勇	無所属																							
栗原幸雄	無所属																							
神谷大輔	無所属																							
伊藤隼人	無所属		a	f	h	c	市役所	b	議会・市民と合意	c,e	b	b	c	e	k			e			他			
小山香	無所属		c	e	f	b	市役所	b	市民合意	c	d	b	e	f	a	e	f,o	a	c	d	b	e	g	
			IV-1 基地跡地利用で重視すること a.市の財政 b.国・県・市の財政 c.自然保護 d.活気 e.市民参加の合意 f.情報公開 g.民間活力 h.公共サービスとのバランス i.医療や福祉の充実										V-1 マンションへの問題意識 a.自治会の加入 b.メンテナンスや管理のノウハウの教育 c.防災対策 d.近隣問題 e.都市計画とマンション建設の整合性 f.人口流入による行政の不足 g.スラム化の防止											
			IV-2 基地跡地利用に近い意見 公務員=公務員宿舎を核とした開発 公園=県営公園の建設 福祉=医療福祉施設の建設 民間=民間に払い下げ 放置=現状で放置すべき 所が独断でやったことがまずい 市民=反対運動が強硬すぎる 不問=誰も悪くない										V-2東上線 a.朝の増発 b.朝の高速化 c.夕方の高速化 d.夕方の増発 e.深夜の増発 f.有楽町線直通の増発 g.有楽町線の増発 h.有楽町線の終電の繰り下げ i.高速化 j.新駅の設置 k.バリアフリーの充実 l.急行や準急が止まりすぎ m.朝霞にも急行を停車すべき n.朝霞や朝霞台に始発電車を o.有楽町線経由と東上線経由の運賃の共通化											
			IV-5 基地跡地利用の計画を今後どうするか 市役所=市役所に任せる 議員=一般議員には合意を求めるべき 市民=市民合意を模索すべき										V-2武蔵野線 a.増発 b.新駅の設置 c.さいたま市方面への接続の改善 d.運休や遅延の解消 e.バリアフリー											
			IV-6 公務員宿舎への評価 a.優秀な公務員確保のため必要 b.大企業社員との比較が必要 c.転勤や残業の多い公務員だけに必要 d.税金の使途として優先度が低い e.自力=自力で住宅は確保すべき										V-3 市内の消費喚起 a.大型店の誘致 b.商店街の育成 c.郊外型大型スーパーの誘致 d.小地域に1つの中小スーパー e.啓発 f.地域振興券 g.バス路線の整備 h.駐車場の整備											
			IV-7 市の計画の評価 a.しっかりしてわかりやすい b.しっかりしてわかりにくい c.わかりやすいがいい加減 d.わかりにくいがいい加減																					